昭和27年（1952）10月2日（木曜日）　第646号

磐城日日

昭和26年7月13日　郵便物認可　昭和25年10月6日　日刊（除月曜）
運輸省特別認可　第684号　第三種郵便物認可

発行所　社団法人　磐城日日新聞社
福島県小名浜町港通51番
電話代表387番
仙台31,355番
編集人兼発行人　長瀬芳郎

印刷ノ御用命ハ
長瀬印刷所ヘ
事務用印刷物
広告・チラシ

衆院選擧の出足順調

二時現在で七八九七

小名濱の棄權は二割五分か

衆議院議員選擧投票は一日午前七時全國一齊に開始されたが、小名浜では「ホリー」颱風の影響か二十日夜來の風速十五米の天候にもめげず出足は頗るよく午前十時現在

第一投票所＝男七〇三名　女六五一名　計一三五四名
第二投票所＝男一九〇名　女二五五名　計三四五名
第三投票所＝男五二一名　女四五九名　計九八〇
第四投票所＝男一九〇名　女二二一名　計四一一名

と有權者總數一万三千七百七拾九名の二二、四%が投票を行つた、また各投票所に於ける一番乘りは第一投票場（第一小講堂）には原木田の小松キミ（三七）さんが五年續けての一番乘りを記錄して係員とは顔馴染み、係員もキミさんの顔が見えないと受付開始するのが氣懸りになるとのことであつた

また第二投票場（海運支局）には榮町の新井利喜吉さんが一番乘りをすれば第二投票場（第二小講堂）には隼人の野家貞夫さんが六時前から張り込んでトップを切り會社員が出勤前に權利行使と續々結めかけた住吉第三小學校の第四投票場は野田の白土ゴンさんと住吉の小泉六郎さんがトップを爭ひ結局受付では小泉さん、投票は白土さんと仲よへ一番乘りをした

なお午後三時現在の各投票所別投票數は次の通り

▽第一投票所（第一小學校）　有權者數…六〇五　二　投票數…男一、六一八　女一、九五三　計三、五七一
▽第二投票所（海運支局）　有權者數…二一七五　投票數…男七四三　女五七七　計一、三二〇
▽第三投票所（第二小學校）　有權者數…四二八　七投票數…男一、一七九　女一、二五七　計二、四三六
▽第四投票所（第三小學校）　有權者數…一二七〇　投票數…男四〇七　女四三三　計八四〇
▽總計數では次の通り

有權者數…男六七〇六　女七〇九六　計一三七七九
投票數　男三、九四七　五九%　女四、一九四　五八%　計八、一四一　五八%

泉の教委七名

田子候補既に街頭へ

町村教育委員立候補の届出は三十日午後五時締切られ郡内では上遠野が十名で最激戰地となつた、泉村では無投票が予想されて居たが結局七名が立候補を届出て小名浜に次ぐ亂戰となり日本水素勞組から出た田子志滿夫候補は早くも街頭に立つて舌戰を展開して居る

佐藤　スエ（五〇）
龍尻字上谷地三二
經歷　福島師範卒、教職二十八年內泉小に二十年勤務、昭和二十七年退職

佐藤　信好（五三）
泉字泉二一六（醫者）
經歷　磐中十七回卒、大阪醫大卒、醫學博士、昭和十九年現地に開業、衆

中PTA副會長
鈴木　キミ（五八）
龍尻字泉町五（農業）
經歷　福島師範卒、教職二十三年、昭和十九年退職、婦人會長三期

田子志滿夫（四二）
龍尻字八木屋（會社員）
經歷　水戸商業卒業、現在日本水素小名浜工場ガス課係長

佐久間秋夫（四八）
玉露字道上八三（農業）
經歷　東京府工藝學校卒　民入
早大聽講二年、學生運動に挺身、農地委員三期、農業委員現農協監事、農民組合、石城郡協書記長
社黨泉支部長

吉田　美登（五三）
滝尻字中坪三五（商業）
經歷　泉高等小學校卒、泉小中PTA關會長、泉保育所保護者連協會長、泉商業會副會長

三戸源太郎（五四）
下川字神山前九三（農業）
經歷　泉高等小學校卒、泉中PTA下川方部長

水産高校の実習生歸校

縣立小名浜水產高等學校製造科三年生磯上謙君ら五名は關東罐詰KK及大東油脂KKに於ける七十日間の實習教育を終えて一日懷しの母校に元氣な姿をみせた、この日ばかりは安達校長も慈父の如く頬笑を浮べて迎え「みんなよく頑張つて來てくれた御苦勞であつた疲れたろうからゆつくり休養するがよい」と親切な言葉にも實習生らは意日同音に「授業が遲れると困るからすぐ出て來ます」と校長始め先生方を感激させた

これは全校に於て來春卒業の製造科三年生三十一名（生徒數三十四）を地元縄島罐詰KK始め七兵衛商店、合資会社吉六商店（以上小名浜町）帝北食糧KKなどの外關東罐詰、大東油脂、鈴啓食品國際罐詰製罐工場、國際水產横浜工場及大洋漁業田浦工場などに依頼し去る五月より夏季休業を通じて各工場及会社に於ける現場實習、製造などの實施教育を受けていたものでありながらでも成績がよく大東油脂にて實習した佐藤壽聰君のごときは卒業後の就職が內定した程である

湯本公民館の青年學級

湯本町公民館青年學級の十月日程は次の通り決定した

四日…「服裝のエチケット」楠優貴氏
七日…「線路の繼目は何故開けるか」宮川登志男氏
十日…レコードコンサート
十一日…「榮養講座」九頭見清市氏
十七日…「魚のお話」磯上正則氏
十九日…「資本論」未定
二十五日…「純潔教育」鹽谷敏氏
二十八、九日…「文學作品の創作」高橋新太氏

教委の演説會

三日第一小学校講堂

小名浜町教育委員立候補者は青少年團体連絡協議會（會長松本文吾氏）の贈入りで三十日午後一時公民館に會同し明三日午後七時より第一小學校講堂に於いて小名浜町教育委員立候補者合同個人演説會を開催し一般選擧民の批判を俟つことになつたこれは教育委員選擧が衆院選擧と同時に本格的に激戰が展開されるものと予想されているが一般選擧民はその意義を殆ど知らず重大な教育問題を左右する選擧であるにも拘らず無関心でいるものが多くそのため非常に低調であり、また公明選擧の見地からも各候補の教育に對する所信抱負を充分に聞いてより良き人を選擧しようと青連協が立会演説会の主催を計畫したが現行法規上立會演説は認め難いと云う選擧管理委員会の見解に頓挫してしまつたが各候補はそうした町民の聲に應えようと合同個人演説会を開催することになつたものである

氣象特報

昨一日午前五時測候所發表の特報によると仝日正午頃八丈島東北東四百粁の海上に台風ホリーが毎時二十五ノットの速度で北東に進んでおり漸次進路を東に變え仝夕刻には本土に接近して北東の風に變り陸上では風速十二米乃至十五、六米に達しまた海上では風速二十米乃至二十三米の暴風となるが夜半頃より次第に衰え本日は北の風で穏になる見込である

水産PTA總會

実習船建造促進等を協議

縣立小名浜水產高等学校PTAでは本二日午後一時より全校に於てPTA臨時總會を開き次の議題につき協議する

一、実習船建造の陳情經過に基き運動促進について
一、二十七年度学校施設擴充計畫実施促進について

勿來幼稚園の入園式

勿來町窪田西殿町中野秀雄氏の經營になる勿來幼稚園は關園準備中のところ二十八日縣会議員赤津庄兵衛、青天目勿來町長ほか町內有志多數を招待して盛大な落成式をあげたが、收容園児は五十名一日入園式を行つた

梨値下りで業者は悲鳴

豊作で出荷最盛期の石城名産〝石城梨〟に値下りに遭い二一五日現在で昨年の出荷量の四割減という悪成績ぶりで業者は悲鳴を上げている

石城地方の小賣り値段は平均百十円ぐらいであり縣農協經済連平支部の調査では初出荷の十一日より二十九日までの出荷状況は東京及び名古屋方面へ貨車十車、二万一千百五十二貫で昨年同期の出荷に比して四割減となつている　値段は昨年同様

天氣豫報 2

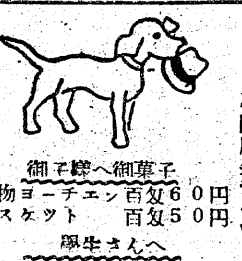
【本日】北西の風稍強く朝のうちは曇りですが後には晴間のある天氣です

【海上】風波が高いが明日頃は穏かになるでしよう

魚菜市況 1

【小名浜魚市場】
小たこ七〇たこ一〇〇～一一〇ぎす「八〇小海老七〇〇海老七〇〇～一、五五〇とうちん一三黒子二〇〇さんま八〇～一一六

【小名浜中央青果市場】
卵一一～一二茄子二七～三〇甘藷二八～六六丸大根三～一五枝豆一八～四六柿五〇～七五切瓜三五



経費をかけずに良い品安く
専門店会チケット御利用下さい

御菓子は御菓子屋へ
動物ビスケットチエン　百匁60円
　　百匁50円

學生さんへ
上質ノート　16枚　5円より
質大學ノート　15円より
上野球帽　55円より
野赤タスキ白赤帽　15円より

御婦さん學校へ
夜具地反　270円より
白生地ヤール　55円より
化粧品柳屋メヌマ　80円
ジユビリオ
花王洗濯石鹸徳用型　10円

御勤の皆様へ
ネクタイYシャツ特別奉仕
皮底サンダル460円より各種
男女雨靴650円より

小名浜第二小學校前
皆様の店　平マーケット
電話297番

秋・冬　荷入地服専門店
純毛服地専門店
良い生地で良い仕立、そして出来るだけ安く
これが當店のモットーです
皆様のチケットを御利用下さい
大井洋服店
小名濱町本町通り

種々印刷の御注文は長瀬印刷所

最新流行の履物類
在庫品の豊富なこと！
價の安いことは！
お客本位の
西町のヨドヤ履物店

急募
一、オート三輪車運転士　若干名
一、トラック助手　若干名
希望の方は履歴書持参の上来社のこと
磐城貨物小名浜才一營業所

新案特許
東和カマド
純珪藻土製品の最高峰
驚く程燃料のいらない
火力強大！
保温絶大！
時間經済！
簡便重寶！
最寄販賣店にあります
品切の節は当店へ
◇新專用煙筒付新入荷
浜三郡代理店
榮屋商店
小名濱町古港　電話三番

急募
若干
久保田醫院
院長　久保田眞
副院長　久保田眞一
助産婦　久保田イネ
小名浜町横町（電二一ノ）

蟲蟲蟲下し
徹底驅除しよう　マルサの相互虫下しを
是非お奨め致します
マルサ藥房
小名浜町西町　電一一五

第646號　昭和27年(1952)10月2日　(木曜日)　磐城日日　第684号　(2)
新聞定価一部賣3円　一ヶ月60円　【月曜休刊】
郵便物認可　特別承認第三種郵便物　磐城日日

小名浜町教育委員 各候補者の抱負

早くも街頭に進出舌戦を展開

激戦を予想される小名浜町の教育委員選擧は衆議院議員選擧の投票日を迎えるに當り活発な動きをみせ早くも街頭に進出して町民に呼びかけるなど舌戦の火ぶたが切られ四ッの椅子を巡つて各候補者はいよいよ戰端を開いた形である

教育環境の是正

PTAの機構強化を促進

長瀬芳郎

この度設置される教育委員会は眞の民主教育を確保するための精神に発動しているもので その委員会を構成する人物如何によつて重大なる教育の動向が左右されることは明らかであります 私は

教育委員会には政治色を入れたくない、その爲にも教育長には政黨色のない眞の教育人を選びあらゆる意味に於て全縣下のモデルケースたらしめることが私の理想です

その爲にも二十年の教員生活またPTAの經驗等を十二分に生かして教職員の待遇改善、教育施設の充實、それ以上に重要なことは社会の環境教育である青少年の不良化防止、育英事業の確立等私のしたい仕事は山積して居るが、まず第一は予算の確立だと思う

兎に角私は熱意をもつて多年の經驗を生かして小名浜の発展のために教育の面から微力をつくしたい

学校の設備の充實、それ以上に重要なことは社会の環境教育である青少年の不良化防止、育英事業の確立等私のしたい仕事は山積して居るが、まず第一は予算の確立だと思う

兎に角私は熱意をもつて多年の經驗を生かして小名浜の発展のために教育の面から微力をつくしたい

私の主張

◉教職員の素質向上と待遇改善を念願し經済待遇の向上
◉町民に喜ばれる教育委員會にしたい
◉社會教育の振興を計りたい
微力ながら教育行政に最善の努力を拂う

湯本町教育委員候補者 日野利春

湯本町三函三六〇　電六一

私の主張

◉教職員の素質向上と待遇改善を念願し經済待遇の向上
◉町民に喜ばれる教育委員會にしたい
◉社會教育の振興を計りたい
微力ながら教育行政に最善の努力を拂う

湯本町教育委員候補者 無所属 木村進一

湯本町三函一二九　電一一

私の主張

◉兒童生徒の健康管理の徹底
◉湯本町に適合した教科書の採擇
◉大湯本町建設への教育施設の擴充
◉教師に研修の機会を與へる

嚴正公明が第一

地域社会教育に関心

佐藤貞吾

私には勿論教育技術の經驗はありませんが本名浜高校PTA会長としてと云うより社會人として教育の重要性は日頃から痛感しております、此度の教育委員にもこの教育の必要性を痛切に感ずるが故に立候補を決意した譯であります、今後の教育には「嚴正公明」これより大切なことはないと思い、私はこの一語に全力を注ぎたいと思つております

学校関係は勿論ですがそれ以上に地域社会に於ける教育には關心をもつており、殊に青少年に對しては吾々が安心して後事を託し得るような青少年の育成教育を強化することが今日の急務であります

然し吾々と現在の青年の間には或る点で隔つた考えをもつているかも知れませんが、眞劍さは一つであると確信致します、幸い小名浜町長各位が私の人間性、識識を支持されましたなら私は私の經驗を十二分に生かし小名浜の爲に獨立文化日本の爲に働きたいと思つております

教育費は國庫で

現行教育法の不備も改正

会田亮

私が考えていることは先づ戰爭絶對反對、平和教育の確立、基本的人權の基礎に立つて人事行政を行うことであり、最も大きな理想は教育の機会均等の徹底を圖る事であると思います

小学校から大學迄學費の心配もいらず才能ある者は誰でも進學出来る制度の確立をあくまでも私の信條としていたします

教委に政治色禁物

二十年の体驗生かす

門馬一

小名濱町橋町玉屋旅館の主人公門馬一氏は福島師範專攻科を卒業後江名小學校を振り出しに永年學校を退職するまで二十年間教職にあり、此の間十三年を小名浜の各学校に教鞭を取つて居た事は周知の通りであるが、この度の立候補に際し「ウソと坊主の頭は云つたことがないのを唯一の誇りとしている」と前置きして抱負を次のように語つた

嚴正な選擧を通じて町民の良識を涵養する根本となるものは実に教育並に教育制度であり、地域社会の發展も平和國家の建設もこの教育の正しい民主政治の源泉がなければ絶対に成り立たないと思うのであります

私達が眞に吾が子、兄妹の將來のためにその教育施設、教育機構の健全性を希わぬものは一人もなく、子弟に愿まれた教育環境を作り上げることとそ 吾々父兄に課せられた責務であります

私はこの機構の完全なる實現促進のために皆さんと共に眞に手を取り合つて挺身する決心をもつものであります

私は皆さんの心を心とし教育面に注がれる熱意と關心と希望を代表して微力ながら

教育環境の是正 PTAの機構強化促進 適正地域教育制度の確立 この三点のために誠心誠意努力を惜しまないことを誓うものであります

教委に政治色禁物

二十年の体驗生かす

高瀬霞

富ケ浦公園の登り口に陣取つた高瀬候補の選擧事務所には「戰は始まつた」「必勝當選」と達筆で大書した千両箱を注連繩で飾つてある

余り笑うことのきらいな高瀬候補は

教育の民主化、公正化が第一の問題でありますす、例えば教科書を出版社とグルになつて決めるような教育委員に小名浜地の教育を牛耳られるようなことがあつては千載の後に悔いを殘すことになることは明らかであり、こうしたボスの手から教育を守ることこれが私の仕事でありますす、また私は絶對公明選擧によつて戰うものであり、他の選擧もそうであるが殊に教育委員の選擧に公明なる選擧を出来ないような者は教育委員としての資格がないと思われる

小名浜は特にボス支配の強いところであり、私の得票數は小名浜の町民が教育に對してどれだけ眼覺めたか、ボスの支配から脱して居るかを知るバロメーターともなるのですと語っていた

常磐炭輸送の配車決る

常磐炭の十月分貨車輸送割當量は一日當り七百車一ヶ月三十五万六千噸と決定した、これを前月に比較すると四万四千噸の増送となつており、縣内關係各駅別一日當りの發送量及び配車數は次の通り、かっこ内は車數

三…三一六九噸(一九五車)湯本…二一三五噸(一三〇車)勿来…七三九噸(四五車)植田…五〇〇噸(三〇車)平…七〇〇噸(五車)赤井…二三一噸(一四車)小川郷…一〇〇噸(六車)廣野…一二六噸(八車)

水産高校に賊侵入

三十日夜縣立小名浜水産学校の便所と廊下との間のガラス戸をこじ開けて賊が侵入、事務室其の他の机を物色して仝抽出しにあつた授業料の釣銭三十圓を強取逃走した、届出により小名濱地區署では目下犯人捜査中であるが仝校は頻々として同様の難にあつているところから見て常習犯ではないかと仝校では語つている

第一都水丸救助

國生丸船員近く表彰

東京都衛島本村水産業潤海上保安部所有の運搬船第二都水丸(六〇噸)は船長増井武夫氏(九八屯)船員五〇マイル附近にて操業中發見直ちに小名浜海上保安部に連絡した結果、保安部からはゞうずまきあけぼのゝ両巡視船出動して救助に当つたが風浪高く救助作業に困難をきわめたが第三國生丸の協力を得て一日午前〇時三十分頃無事小名浜に入港した

遭難した第二都水丸は二十五日夜半頃機關に故障の生じ漂流していたもので五日目に救助されたがこの救助のかげには小名浜海上保安部に連絡するとゝもに救助に當つたもので船員としてなすべきことを行つたに過ぎないと言葉少なに語つていた

第一都水丸救助

國生丸船員近く表彰

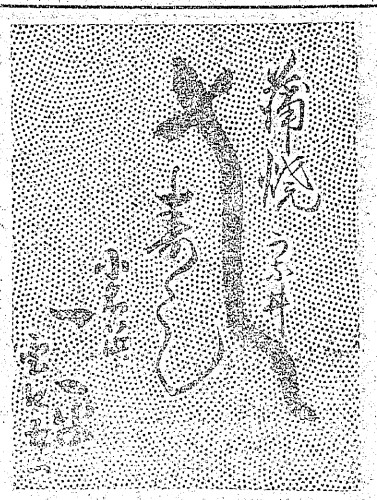
東京都衛島本村水産業潤海上保安部所有の運搬船第二都水丸(六〇噸)は船長増井武夫氏(九八屯)船員五〇マイル附近にて操業中發見直ちに小名浜海上保安部に連絡した結果、保安部からはゞうずまきあけぼのゝ両巡視船出動して救助に当つたが風浪高く救助作業に困難をきわめたが第三國生丸の協力を得て一日午前〇時三十分頃無事小名浜に入港した

遭難した第二都水丸は二十五日夜半頃機關に故障の生じ漂流していたもので五日目に救助されたがこの救助のかげには小名浜海上保安部に連絡するとゝもに救助に當つたもので船員としてなすべきことを行つたに過ぎないと言葉少なに語つていた

第二都水丸の遭難はラジオにより聞いていたゝめに發見したときそれと知れたそのため小名浜海上保安部に連絡するとゝもに救助に當つたもので船員としてなすべきことを行つたに過ぎないと言葉少なに語つていた

高級純毛トップ染
カネボーの毛糸
本年の流行色六七色を取揃へ
半ポンド…九〇〇圓
小名浜 藤越

外科 眼科
婦人科 産科
放射線科
黒澤醫院
小名浜第一小學校隣 電45番



秋期サービス!!
九月十月 一杯
輕飲食店 スナック
◉すべてを取揃へてあります
小名浜町永業前通り

記者見習 業務員 若干名 募集
希望者本社來談
新制高校以上、年令、不問履歴書持参
小名浜町字廻五一
磐城日日新聞社
電話三八七番